

「JBA公認D級コーチ」

「JBA公認C-2級コーチ」
昇格への道

財団法人日本バスケットボール協会
指導者育成委員会

D C-2級への昇格とは？

JBA公認コーチライセンスは、日本体育協会と日本バスケットボール協会が連携して展開している事業です。

日本体育協会は共通科目を担当し、日本バスケットボール協会は専門科目を担当しています。

共通科目は、～ まであり、資格の種類によって求められる範囲が異なります。

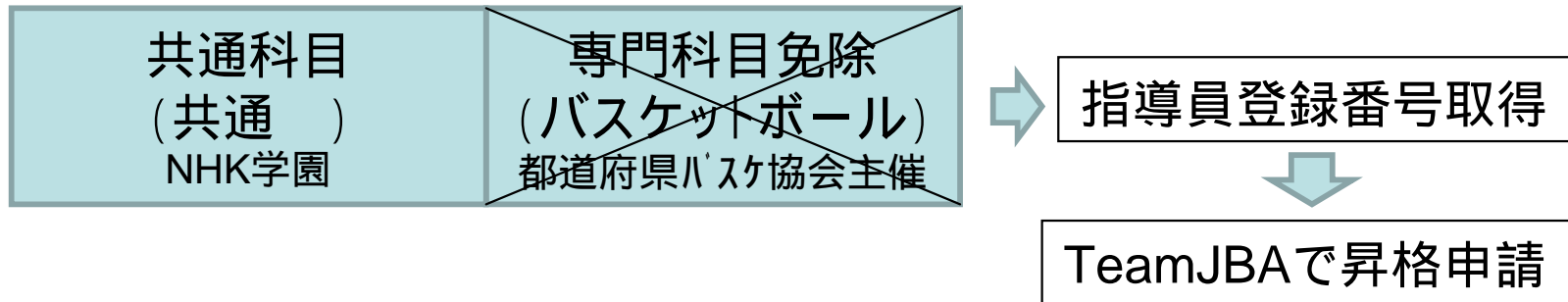
専門科目も、資格の種類によって講習内容や時間が異なります。

JBA公認C-2級コーチというのは、日体協の指導員のことです。従来は、共通科目を修了してから専門科目を受講しなければなりませんでした。平成13年度からバスケットボールの専門科目を共通科目に先行して受講できるようになりました。この専門科目部分のみ修了した人が、JBA公認D級コーチです。

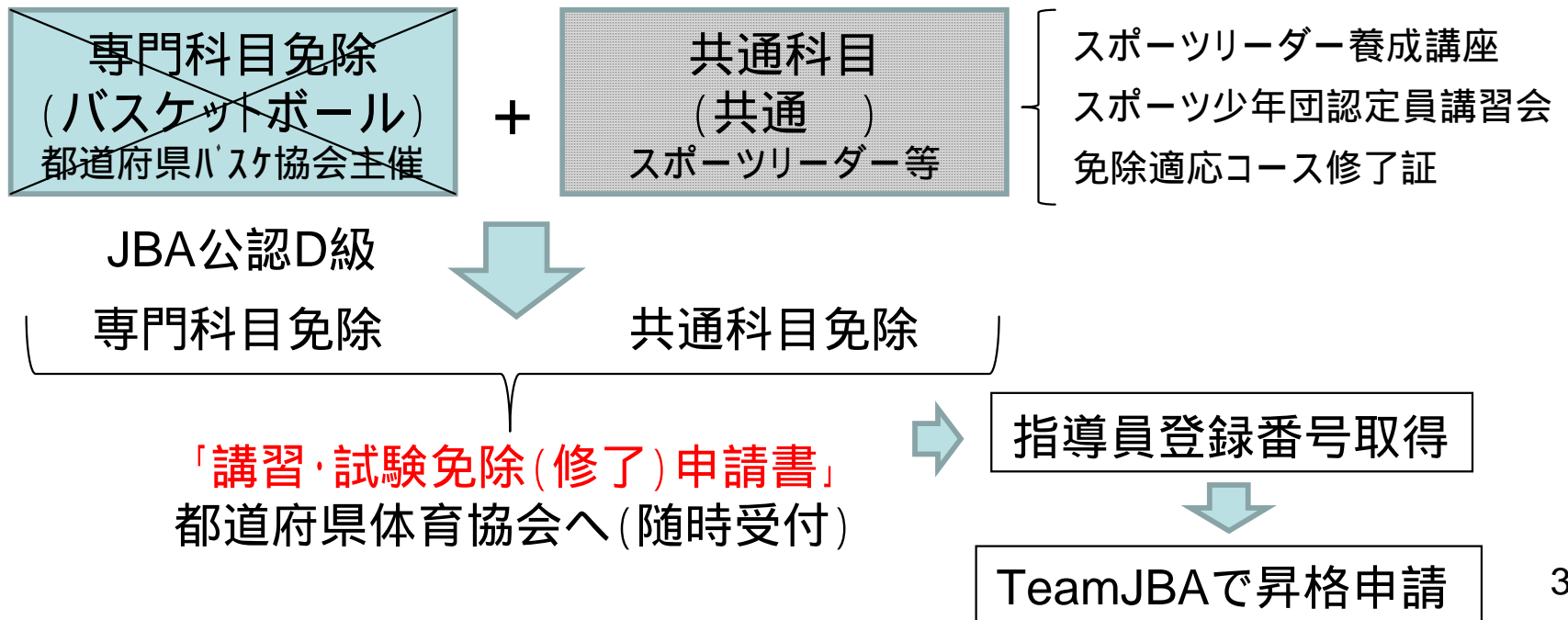
したがって、JBA公認C-2級コーチ(指導員)に昇格するためには、日体協が主催している共通 を受講し修了することが必要です。

JBA公認C-2級コーチ取得方法

A) 指導員養成講習会申込み(都道府県体育協会)



B) JBA公認D級コーチ取得を先行した場合



共通 を修了するには

- 共通 を修了するためには、4つの方法があります。
 1. 5月末から申込の始まる都道府県体育協会が主催する「指導員養成講習会」に受講申請する。
 2. 年4回行われるスポーツリーダー養成講座に申請する。
 3. スポーツ少年団認定員養成講習会に申請する。
 4. 大学の教育系学部や専門学校が免除適応コースになっている場合、卒業時に免除申請を行う。

1-1) 指導員養成講習会に申し込む

どの都道府県体育協会がその年度に「指導員」養成講習会を開催するかどうかを確かめる(どこかの都道府県協会ですべて開催している)。

その都道府県体育協会へ申請書を郵送してもらい、電話で依頼する(その際、JBA公認D級コーチであることを伝えておくとよい)。

申請書類に免除項目欄があるので、「JBA公認コーチ」にチェックして申請する。これで、専門科目を受講しなくてもよいので、その都道府県が開催する専門科目養成講習会に参加する必要がない。ただし、窓口がその都道府県になるのでできれば近い方がよい。

受講料21,000円(教材費含む)

1-2) NHK学園の通信教育を受ける

受講料を払い込むと NHK学園の通信教育の案内が届くので、テキストを参考にして答案をNHK学園に郵送する。3回ほど課題を提出。12月末に合不合の連絡。

合格すると「指導員」として日本体育協会に登録料を支払う。初回のみ登録手数料3000円がかかる。登録料は4年間で1万円。登録手続きが完了すると日体協から登録番号が記されたカードが届く。

その登録番号をTeamJBAに追加入力し、TeamJBAで「JBA公認C-2級コーチ」に昇格申請をする。

2-1) スポーツリーダー養成講座に申し込む

インターネットでNHK学園「スポーツリーダー養成講座」のページから「受講お申し込み」を開いて必要事項を入力する。

- <http://www.n-gaku.jp/life/dtl/9E1.html>
- 電話受付可 (042-572-3151 9:30 ~ 17:30)

または現住所のある都道府県体育協会にあるスポーツリーダー養成講座の案内(パンフレット)に付いてくるハガキに必要事項を記入して郵送する。

受講料24,000円 春・夏・秋・冬期の年4回

2-2) NHK学園の通信教育を受ける

受講料を払い込むとNHK学園の通信教育の案内が届くので、テキストを参考にして答案をNHK学園に郵送する。3回ほど課題を提出。

合格すると「スポーツリーダー」として日本体育協会から認定証が届く。資格認定料は、受講料に含まれている。

スポーツリーダーの認定証とJBA公認D級コーチ登録証のコピーを添えて都道府県体育協会へ「講習・試験免除(修了)申請書」を提出する。

指導員の登録手続をする 1-2)- 参照。

その登録番号をTeamJBAに追加入力し、TeamJBAで「JBA公認C-2級コーチ」に昇格申請をする。

3-1) 日本スポーツ少年団 「認定員」資格を取得する

スポーツ少年団には各団に1名以上の「認定員」が必要です。

市区町村から補助金が出るので、非常に安く(数千円程度)、2日間(14時間)の集合講習会を受講できます。

スポーツ少年団に所属していることが前提ですので、誰でも受講できる訳ではありません。

ミニバスに関わっている方は、そこから詳しい情報を入手して受講して下さい。

3-2) スポーツ少年団認定員養成講習会を受講する

集合講習14時間 + 自宅学習21時間。

都道府県スポーツ少年団開催。

開催日・費用などは、都道府県によって異なる。

修了すると、自動的に「スポーツリーダー」となり、認定証が交付される。

スポーツリーダーの認定証とJBA公認D級コーチ登録証のコピーを添えて都道府県体育協会へ「講習・試験免除(修了)申請書」を提出する。

指導員の登録手続をする 1-2)- 参照 。

その登録番号をTeamJBAに追加入力し、TeamJBAで「JBA公認C-2級コーチ」に昇格申請をする。

4-1) 大学や専門学校の免除適応 コースに在籍している人

卒業時に必ず学校を通じて、共通を含む免除申請を行う。審査料として、5,250円～10,500円程度かかる。

卒業してからは、申請できないので、卒業の半年ぐらい前から学校の事務局へ問い合わせること。

最低でも共通は免除になる。できれば、共通まで免除になるように、授業の取り方を工夫する。

4-2) 大学や専門学校の免除適応 コースに在籍している人

体育系大学の場合は、履修した授業の内容を問わず、卒業時に申請しさえすれば、共通 ~ まで免除になる。

教育系の保健体育コース(スポーツ健康コース等)の場合は、履修した授業の内容を問わず、卒業時に申請しさえすれば、共通 ~ まで免除になる。

卒業式に「修了証」が届くので、そのコピーとJBA公認D級コーチ登録証のコピーを添えて都道府県体育協会へ「講習・試験免除(修了)申請書」を提出し、「指導員」の資格を得ること。

